
日本カリキュラム学会

第16回 研究集会のお知らせ

代表理事: 松下 佳代
研究委員会委員長: 上地 完治

テーマ

学校における外国にルーツのある子どもへの支援

趣旨

日本カリキュラム学会では、2024年大会と2025年大会において「多様な学び」をテーマにした課題研究が企画され、多様な学びの実践やその背後にある理念、構造、あるいは問題について議論されてきた。今回の研究集会もこの研究関心を継承し、とりわけ、外国にルーツのある子どもたちへの学校教育における支援について検討してみたい。この問題は、令和3年の中教審答申「『令和の日本型学校教育』の構築をめざして」においても、今日の学校教育が直面している「子どもの多様化」という課題の一例として取り上げられており、日本国籍を有する児童生徒も含めて、彼ら／彼女らに対する日本語指導のみならず、キャリア教育や相談支援、ルーツに関わる言語や文化への支援の必要性が指摘されている。また、令和7年に文部科学省総合教育政策局がまとめた外国人児童生徒等教育の現状と課題に関する資料をみると、指導過程や指導体制の実例が紹介されており、日本語指導担当教師の指導力向上の必要性などが示されている。

本研究集会では、まず、大阪教育大学の白井智美会員に、外国にルーツのある子どもへの教育の内容や指導体制、教育活動上の課題についてご報告いただく。次に、アメリカ人とアジア人の両親を持つ「アメラジアン」(Amerasian)を対象とした民間教育施設「アメラジアンスクール・イン・オキナワ」について、その成立過程や社会歴史的背景、そして地域の公立学校とアメラジアンスクールとの関係について、琉球大学の野入直美氏にご報告いただく。

日時: 2026年3月14日(土) 13:00-16:00

(※15:30~16:00はオンラインで交流会を実施します)

参加方法: オンライン (Zoom ミーティング又はウェビナー)

※12:40頃から入室可。

報告者:

○白井 智美会員 (大阪教育大学)

○野入 直美氏 (琉球大学)

司会・コーディネーター

上地完治 (琉球大学)、子安潤 (愛知教育大学名誉教授)

参加費 無料 (学会員でない方にもご参加いただけます)

参加申込について

参加希望者は下記 URL (Google フォーム) より、「3月11日(水)」までにお申し込みをお願いします。
申込者には登録していただいたメールアドレス宛に参加方法のご案内を 3月12日(木)にお送りします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfso8s2kNuzb8hUj9H6SLQY-Qj3-aH58xMaoF4G3ssjXy9eXw/viewform?usp=publish-editor>

問い合わせ先:

コーディネーター 上地完治 (kanji_aito@cs.u-ryukyu.ac.jp) ※「aito」は@に変換